

2021年8月19日

血液失血事故防止に関する注意喚起

公益社団法人日本臨床工学技士会

理事長 本間 崇

一般社団法人日本透析医学会

理事長 武本 佳昭

公益社団法人日本透析医会

会長 秋澤 忠男

血液透析、血液透析濾過のプライミングにおいて、オーバーフローラインを用いたプライミング方式を採用している施設において、オーバーフローラインの取扱いの不具合で失血による死亡事故が発生したとの報道があった。

その原因は、自動プライミング用クランプへのオーバーフローラインのセットが不完全であったこと、及びプライミング完了後におけるライン付属のミニクランプの閉じ忘れが推測されるため、各透析施設においては再発防止のため以下の管理を実践するよう注意喚起する。

なお、現在、該当するプライミング方式を採用している国内のメーカーは株式会社ジェイ・エム・エス及び日機装株式会社である。

1. オーバーフローラインを用いたプライミングを採用している施設では、メーカーの最新の取扱説明書、添付文書を確認し、使用方法やアラーム発生時の対応の徹底等、安全な治療を行うための周知を徹底して戴きたい。
2. プライミング方式の変更には、所定の費用が発生するが、オーバーフローラインを用いたプライミング方式からシングルパスによるプライミング方式への変更も考慮し対応して戴きたい。

上記の事故を防止する具体的な方策について、今後3団体は当該メーカー及び(一社)日本医療機器テクノロジー協会(MTJAPAN)に働きかけるとともに、啓発活動に努める所存である。

以上